

夜間ステージを含む 12 時間ぶっつづけのロゲイン。制したのはロゲインの帝王・柳下安齋組。国内ロゲインでは敵無しだ。

2006年6月10-11日 長野県菅平高原
日本ロゲイニングチャレンジ菅平大会



22:00 にスタートする 12 時間の部。競技時間の半分は夜間ステージとなる。12 時間の部は必ずチーム単位でのエントリーと行動が求められる。

強い！ 柳下・安齋組

ロゲインの第一人者、柳下・安齋組の力は 12 時間ステージでも発揮され、見事優勝した。この春に行われた三河高原ロゲインでも優勝し、これで今年のロゲインは二連覇だ。

昨年の菅平高原大会では体調不順で悔しい思いをただけに、今年の 2 連覇は彼らとしても満足のできる結果だろう。



スタート前プランニングする柳下・安齋組。絶妙のプランが優勝をもたらす。

野口みずきも興味津々

今年のロゲイン大会期間中には野口みずきが菅平高原を訪れていたようだ。彼女はアテネオリンピックで金メダルを獲得した後も、時々菅平高原に来て高地トレーニングをしているらしい。

野口みずきと同宿だった参加者の話によると、12 時間ロゲインの話聞いた野口みずきはこの競技に興味を持っていたらしい。もしかすると来年は参加してくれるかも？

トラブルもロゲインならではの

12 時間ロゲインとなると運営も大変だ。南北 25km、標高差約 1700m にも及びコントロール設置。夜間ステージでの安全確認。など。

今回の通過証明として EMIT の E-card を使用したが、このカードは 2 時間以内に新たなパンチが無いと自動的にスリープする仕組みになっている。

12 時間ステージでは途中で長い休憩を入れて 2 時間の間一度もパンチしないケースが多々発生する。成績集計には問題が起らなかったが、ラップ出力までには解析も含めて競技後随分時間が経ってしまった。通常のオリエンテーリング大会では発生しないトラブルである。

来年は 24 時間ロゲインが行われる。参加者も過激だが運営も過激だ。



3 時間の部のスタート前。地図が渡され、ルートを考える参加者。菅平高原のスキー場の新緑はまるで絨毯のよう。

気軽に楽しめる 3 時間の部

12 時間の部は、オリエンテーリングとは別競技とっていい。12 時間の部は一般のオリエンテーリング愛好家には敷居が高くなってきているのも事実。

しかし菅平ロゲイン開催当初から 3 時間の部も欠かさず行われている。

ゆっくりながら走りきれる距離と時間。次々と現われるコントロール。それでいて戦略性が求められる補給作戦。この季節は緑の絨毯とヤマツツジに覆われた菅平高原の風景が美しかった。



3 時間の部フィニッシュ。すぐにプランの意見交換会となる。優勝の高橋(中央)と 2 位の羽鳥(左)

12 時間男子 (得点)

1	柳下 大	チーム大安	2078
2	樋山邦治	ち〜む野獣	1707
3	関 隆文	東工大美術部	1470

12 時間男女 (得点)

1	平野直子	稲毛 IC 迷走部	1550
2	長田麻里	ジェットラグ	1538
3	田島利佳	TEAM 阿梨	1435

3 時間男子 (得点)

1	高橋善徳	みちの会	1244
2	羽鳥和重		1164
3	須田 剛		966

3 時間女子 (得点)

1	芝田登紀子		501
2	塚本 恵		313
3	芳賀美奈子		292

3 時間男子ジュニア (得点)

1	木村友佳	長野県 OL 協会	693
2	須田 格		310
3	須田和幸		310

3 時間男子シニア (得点)

1	小林二郎	愛知 OLC	810
2	清水 潔	横浜 OL クラブ	796
3	大場隆夫	サン・スーシ	758

(木村佳司)